

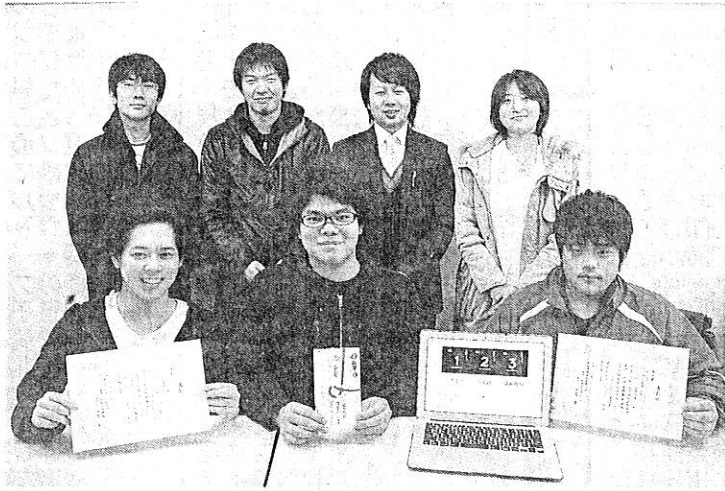
商店街から地域再生を

ビジネスプラン コンテスト 銀賞

実現へ準備着々と

有明高専

大牟田市東萩尾町、有明工業高等専門学校（福島健郎校長）のOBと学生が第九回佐賀ビジネスプランコンテストに応募し、「商店街の空き店舗を活用した地域再生ビジネス」で銀賞（三位）を受賞した。「まちなかシリコンバレー」と称して銀座通り商店街を拠点に雇用創出や地域活性化を図るプランで、実現に向けて動きだしている。



賞状や副賞を手にする学生ら

同コンテストは佐賀成さん（電子情報工科大学産学・地域連携機構四年）、大塩悠貴さん（同五年）、近藤一輝さん（同五年）、真崎瑛里さん（同五年）、野田武司さん（同四年）、川添浩太朗さん（同四年）、都嘉恋さん（同四年）のチーム。

銀賞に選ばれたのは同高専専攻科修士生の野口卓朗さん（佐賀大学大学院工学系研究科電気電子工学専攻二年）と同高専の国崎恒

の拠点として整備するもの。

サロンは起業を目指す人や若い社会人、大牟田で働きたい学生らの交流の場として設ける。サロンで出た構想を実現させ、他の空き店舗を事務所とすることで、商店街に事業と雇用を創出することが目標。講演会やビジネススクールなどを開いて、地域の高齢者から「知の継承」も図る。ソフトウェア事業はすでに始動しており、一件の開発を終え、二件が開発中という。受賞したプランをさらに発展させ、IT系企業誘致の拠点としても整備する。実現に向けて準備を進めていきたい」とリーダーの国崎さん。現在、空き店舗を改装している最中で、二月下旬から三月上旬にかけて、事務所とサロンをオープンする予定。また大塩さんは「Webを用いたデザイン性の高い背表紙の拡販」のプランも応募し、優秀賞を受賞。ウェブフォームを用いて、ユーザーのニーズに合ったデザイン性の高いバインダの背表紙を販売するシステムを作った。現在、協賛企業がシステムの公開に向けて準備を進めている。（河野 美緒）